

令和6年度

# 静岡県教員研修計画



静岡県教育委員会

( 白 紙 )

## 目次

I	教員研修計画策定の趣旨及び令和6年度計画の主な改正点	1
1	策定の趣旨	
2	令和6年度の主な改正点	
II	静岡県の教員に求められる資質能力	2
1	“ふじのくに”における教育の基本理念	
2	「有徳の人」を育成する教育の推進	
III	教員研修の構成	6
1	研修区分	
(1)	校外研修	
(2)	校内研修	
2	研修体系	
IV	教員研修の実施方針	7
1	実施方針	
2	研修実施上の留意事項	
(1)	キャリアステージに応じた資質能力の向上	
(2)	時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法への転換	
(3)	研修観の転換	
(4)	研修の成果の確認	
(5)	校内研修の充実	
(6)	実施方法の最適化、効果的・効率的な方法による実施	
(7)	研修の評価	
(8)	研修を奨励するための方途	
3	研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励	
(1)	研修履歴の記録の目的	
(2)	対象となる教員等の範囲	
(3)	研修履歴の記録の範囲	
(4)	研修履歴の記録の内容	
(5)	研修履歴の記録の方法	
(6)	研修履歴の記録の時期	
(7)	研修履歴の記録の閲覧・提供	
(8)	対話に基づく受講奨励の方法・時期	
V	実施研修	15
1	新規研修及び主な充実改善研修	
2	実施研修	
(1)	一覧	
(2)	悉皆研修	
(3)	育成指標対応表	

# I 教員研修計画策定の趣旨及び令和6年度計画の主な改正点

## 1 策定の趣旨

平成28年11月に教育公務員特例法（以下「教特法」という。）の一部が改正され、公立の小学校等の校長及び教員の任命権者に以下の事項が義務付けられた。

- 校長及び教員としての資質に関する指標を定めること
- 指標を踏まえ、当該校長及び教員の研修について、毎年度、体系的かつ効果的に実施するための計画を定めること
- 指標の策定に関する協議並びに当該指標に基づく当該校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項についての協議を行うための協議会を組織すること

また、令和4年5月の教特法の一部改正により、校長及び教員の資質の向上のため、研修等に関する記録の作成及び資質の向上に関する指導助言等に関する規定が整備された。これにより、教員研修計画に、資質の向上に関する指導助言等の方法に関して必要な事項を定めることとされた。

以上に基づき、本県教育の基本理念である「有徳の人」の育成～誰一人取り残さない教育の実現～を目指し、多様なニーズに対応できる専門性や指導力、意欲等を持った校長及び教員\*を育成するため、ここに「令和6年度静岡県教員研修計画」（以下「本計画」という。）を策定する。

\*本計画では、「教員」及び「教員等」について、次のように区分する。

教員	副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（任期の定めなく任用された者）、学校栄養職員
教員等	上記「教員」に、実習助手、寄宿舎指導員、任期付職員、臨時的任用職員、会計年度任用職員を加える

## 2 令和6年度計画の主な改正点

- 研修を企画、実施する上で、研修主催者が留意すべき点として、以下の項目を追記した。【IV 教員研修の実施方針】
  - ・時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法への転換
  - ・研修観の転換
  - ・研修の成果の確認
  - ・校内研修の充実
- 「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等のスケジュール（例）」を追記した。【IV 教員研修の実施方針】
- 「研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォーム」の導入による、校長及び教員の資質向上の支援について追記した。【IV 教員研修の実施方針】
- 「新規研修及び主な充実改善研修」及び研修の「一覧」を更新した。また、「悉皆研修」を追記した。【V 実施研修】

## Ⅱ 静岡県の教員に求められる資質能力

### 1 “ふじのくに”における教育の基本理念

本県は、「富国有徳の「美しい“ふじのくに”づくり」～東京時代から静岡時代へ～」を県政運営の基本理念に掲げ、誰もが人生の夢を実現し、幸せを実感できるSDGsのモデル県を目指している。

教育を受ける権利は、日本国憲法で保障されている基本的人権であり、「有徳の人」の育成に向けては、この地に暮らす誰もが人生の夢を実現し、幸せを実感するための基盤となる「誰一人取り残さない教育の実現」に全県を挙げて取り組んでいくことが重要である。

目指すべき人物像や「有徳の人」づくり宣言に基づき、一人ひとりの中にある「才」と「徳」を高めることを通じ、本県の未来を担う「有徳の人」の育成を社会全体で進めることとする。

#### 【「有徳の人」】

- 知性・感性・身体能力など、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指す人
- 多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む人
- 「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人

#### 【「有徳の人づくり」宣言】

誰一人取り残さない教育を実現し、気品をたたえ、調和した人格をもち、また、「富士」の字義にふさわしい物と心の豊かさをともに実現する「有徳の人」を育成するため、

- 一、「文・武・芸」三道の鼎立を実現します。
- 一、生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境を実現します。
- 一、地域ぐるみ、社会総がかりの教育を実現し、「才徳兼備」の人づくりを進めます。

### 2 「有徳の人」を育成する教育の推進

AIやIoT等の技術革新が進展し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられた時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものが劇的に変わる状況が予想されている。

また、地球規模の気候変動、国境を越えた人の往来やモノ・情報の流通など、あらゆる分野でグローバル化が進展する中、国際社会の一員として、地域レベルでの持続可能な社会づくりの担い手の育成が求められている。

我が国では、加速する人口減少や健康寿命の延伸等の人口構造の変化に加え、学校になじめない児童生徒、家族の世話を日常的に行う「ヤングケアラー」、経済的格差を

抱える児童生徒に対する学びの保障、国籍や性別、障害の有無といった多様性への配慮等の様々な課題が顕在化している。

本県が育成を目指す「有徳の人」は、美しい“ふじのくに”づくりの礎となるもので、様々な変化が起こり得る新たな時代において、社会や人のために、自らの能力に応じて、できることを行っていく人であり、その具体的な人物像が「才徳兼備」の人である。

社会が急激に変化する中、予測できない変化を柔軟に受け止めつつ、地球規模の諸課題も自らの課題として捉えながら、自ら考え、行動していくことが求められる。多様な課題が顕在化していく中において、人それぞれに異なる価値観や特性等の多様性を尊重し、助け合っていくことが必要である。

こうした姿勢を持って、コミュニケーション力を発揮し、協調して新たな価値の創造に挑んでいく力が求められ、そのための教育は、「才徳兼備」の人づくりそのものである。全ての人々が自らの夢を実現でき、幸せを実感できる地域社会を目指して、誰一人取り残さない教育に全県を挙げて取り組むものとする。

### 3 本県教員に求められる資質能力

上記の基本理念を実現するに当たっては、教員が時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法を身に付け、児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、その主体的な学びを支援する伴走者として必要な資質能力を身に付けることが必要である。

本県では、校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき資質に関する指標として「静岡県校長育成指標」、「静岡県教員育成指標」を策定した。校長育成指標では3つの資質能力を、教員育成指標では4つのキャリアステージごとに、5つの資質能力を定めている。

教特法の改正により、令和5年度から、研修等に関する記録の作成及び資質の向上に関する指導助言等が行われることとなった。指導助言等においては、本県の指標や本計画、研修等に関する記録を活用し、指導助言者\*が対話に基づく研修の受講奨励を行うことになる。

対話に基づく研修の受講奨励は、教員と学校管理職とが対話を繰り返す中で、教員が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことが基本である。

誰一人取り残さない教育により、全ての人々が自らの夢を実現し、幸せを実感できる社会にするためには、探究やアントレプレナーシップ教育、SDGs教育、多様性を尊重する教育等を推進する役割が、教員には求められる。

研修等を通じて、校長及び教員が本県指標に示した資質能力を身に付け、「有徳の人」として、児童生徒のロールモデルとなることが期待される。

\*指導助言者 …… 公立の小学校等の校長及び教員のうち、県費負担教職員の場合は市町教育委員会、それ以外の場合は任命権者。ただし、本県においては、教員に対する指導助言は当該教員が所属する学校の校長が行う。

【静岡県校長育成指標 ～校長に求められる資質能力～】

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、  
学校の最高責任者として変化を恐れない積極性とリーダーシップを発揮し、  
魅力ある学校づくりを推進する校長の育成を目指す

資質能力	項目	具体的行動例
学 校 分 析 ・ 企 画 の ビ ジ ョ ン ・ 改 善 を 実 現 す る 力	教職員、児童生徒、保護者、地域等に共有される学校経営のビジョンを示し、その実現のために、社会に開かれた教育課程を編成し、魅力ある学校づくりにリーダーシップを発揮し取り組んでいる。	
	情報の収集と課題等の把握(アセスメント能力)	○学校の実態（児童生徒の学習・生活、保護者・地域からの期待、地域社会の環境等）に関する情報を広く収集し、学校経営に関する課題等を的確かつ継続的に把握している。
	ビジョンの構築と共有	○社会の動向や国、県、市町の教育施策及び地域の期待や学校の実態を踏まえ、学校経営のビジョン（例：スクール・ポリシー、グランドデザイン等）を構築し、カリキュラム・マネジメントに反映させ、校内外（全ての教職員、児童生徒、保護者及び地域等）と共有している。
	必要な諸資源の把握とその活用(ファシリテーション能力)	○教育内容や時間を適切に配分し、地域の教育力をカリキュラムに取り入れた魅力ある教育活動を計画的に推進している。 ○コミュニティ・スクール等を通して、地域、他機関や家庭と渉外・調整を行い、必要な人的・物的な資源を活用し、協働体制を構築している。
	ビジョンの実現に向けた評価・点検及び改善	○ビジョンを明確に示し、実現に向かって、目標を具現化し、共有を図っている。学校全体でPDCAサイクルを確立し、教育効果を高めようと努めている。
管 理 運 営 力	児童生徒の実態や個々の教職員の状況を把握しながら、校務分掌等の組織をチームとして編成し、教育活動が計画的・効果的に行われるようにしている。	
	学校運営体制の確立	○チーム学校としての考え方を踏まえ、リーダーとして学校業務の改革・改善、外部機関との連携・外部人材の活用を図る等、教育活動が計画的・効果的に行われる体制を構築している。
	危機管理体制の確立	○幅広い危機管理の認識の下、リスクマネジメントの徹底に努めている。 ○児童生徒と教職員が、安全・安心な環境の中で教育活動に取り組めるように、情報収集力を高め、現状を分析し、その後の予測を立てた上で、関係機関と連携し、適切に判断している。 ○「命を守る教育」や危機管理を意識した組織的な活動を推進できるような体制を構築している。
	施設管理・事務管理	○施設・設備の管理、会計処理、事務手続き等、学校事務に関する的確に把握するとともに適切に指導をしている。
	教職員の勤務・サービスの管理・監督	○教職員の勤務状況及び心身の健康状態等を的確に把握し、適切なサービス監督と人事管理に努めている。
人 材 育 成 力	教職員としての資質向上を支援するための体制づくり、環境づくり、人づくりを教職員の互いの協力を促しながら行っている。	
	教育活動活性化への体制づくり	○より質の高い教育活動を実現するために、教職員が意欲的に新たな指導方法等を学び続けることができる体制を構築している。
	働きやすい職場環境づくり	○教職員の間、心理的安全性の高い、公正・公平の姿勢・態度、信頼・協働の関係が定着するような環境をつくっている。
	各教職員に対する理解・支援・育成	○教職員一人一人の資質能力やキャリア形成等を的確に把握するとともに、それぞれの背景・個性・考え方を理解した上で、指導・助言をしている。 ○教職員のキャリアステージを考慮し、校内での適材適所の人材配置をしている。

# 【静岡県教員育成指標】

静岡県教員育成指標（副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭等）

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、  
生涯を通じて学び続け、子供たちの伴走者として夢の実現へと導く教員の育成を目指す

キャリア ステージ  資質 能力	採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
	○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようとする。           ○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。           ○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。           基礎・向上期に身に付けた力に加え、           ○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。           ○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。           充実・発展期に身に付けた力に加え、           ○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。           ○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。			
キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける				
教育的素養・総合的人間力	○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、子供への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。           ○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れぬ積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。           ○「才徳兼備」の人づくりを担う一人として、常に児童生徒の模範となるよう行動している。			
授業力 授業づくりに関わる力  ・教科領域専門性 ・児童生徒の実態把握 ・授業構想・授業展開 ・個に応じた指導 ・ICT・教育データを活用した指導 ・評価・改善 など	○学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導内容や指導方法（ICTを活用した指導方法含む）について理解し、実践しようとしている。	○児童生徒の実態把握を的確に行い、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業を実践している。           ○幼小中高の学びの継続性及び教科等横断的な視点を持った授業を実践している。           ○各教科等と地域の人的・物的資源をつなげ、学習成果を高める授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○児童生徒個々の特性に合わせて、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業、教科等横断的な視点を持った授業の実践を深めている。           ○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。           ○地域の人的・物的資源を有効活用し、高い学習効果を上げる授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○変化を恐れぬ積極性とリーダーシップを持ち、授業力向上のための体制づくりに参画している。           ○自己の確かな実践に基づき、学校・家庭・地域の実態や特性等を踏まえ、児童生徒の資質能力を伸ばすためにICTの効果的な活用等、必要な指導計画の策定とその実践をリードしている。           ○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。
生徒指導力 児童生徒理解を深め、健全やかな成長を支援する力  ・児童生徒理解・学習経営 ・生徒指導（ICT・教育データの活用） ・特別支援教育 ・ユニバーサルデザインの視点の共有・人権教育 ・キャリア教育・SDGs ・保護者・地域・外部と連携した指導 ・グローバル人材の育成 など	○児童生徒の発達等に関する知識を得ることや、多様な児童生徒と接する経験を持つことなどを通して、児童生徒理解に努めるとともに、人権尊重の意識を深めている。	○児童生徒一人一人に寄り添い、個々の特性に応じた発達を促すとともに、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう、地域や外部関係者と連携して支援している。           ○保護者等との信頼関係を基盤とした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。           ○特別支援教育の対象となる児童生徒一人一人に応じた指導計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な指導を行っている。	○児童生徒一人一人を取り巻く環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。           ○外部機関と連携し、主体的・組織的に生徒指導に取り組んでいる。           ○特別支援教育に関わる専門性を高めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。	○児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域・外部関係者に働き掛け、学年・学校全体として生徒を支援する機能の充実を図っている。           ○外部機関と連携して組織的な生徒指導を推進し、指導・助言を行っている。           ○児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図っている。
教育業務遂行力 授業力、生徒指導力以外の専門的な力 様々な教育課題（社会の変化、継続的な業務改善、校務におけるICT・教育データ活用等）への対応 管理（安全対策、保健管理栄養・衛生管理） など	○教員の仕事の全体像を認識し、教育に携わる者として、社会の変化や様々な教育課題等について関心と知識を持っている。	○様々な教育課題に対応するため必要な知識・技能を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。           ○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止の実施が迅速にできている。	○様々な教育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。           ○危険を予測した未然防止の取組、事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止が、同僚と協働して組織的にできている。	○様々な教育課題に対して模範となる実践を行うとともに、学校全体を見据えて、魅力ある学校づくりを推進している。           ○危険の未然防止や事故等の再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。
組織運営力 組織目標を達成するために必要な力 対話・協働・信頼 コミュニケーション・ファシリテーション 課題解決、危機管理 コミュニティ・スクール活用 ICT・教育データ活用 人材育成 など	○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。	○組織の一員として、学校経営計画の実現に向け、他の教職員と協働して自らの役割に課せられた責任を果たしている。           ○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、後輩のよき相談役となっている。	○学校経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。           ○教職員間の信頼に基づき、多様な意見を尊重して、リスク回避に努め、組織的な学校改善を推進している。	○学校運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。           ○チームとしての学校として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。危機管理を徹底させている。           ○人材育成の重要性を踏まえ自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。



### Ⅲ 教員研修の構成

#### 1 研修区分

##### (1) 校外研修

###### ア 基本研修

###### 【経験段階別研修】

- ・年次別研修（初任者研修から中堅教諭等資質向上研修まで）
- ・経験豊かな教員に対する研修（キャリア開発研修Ⅰ・Ⅱ）

###### 【職務別研修】

- ・校長、副校長、教頭昇任時に受講する研修
- ・教務主任、生徒指導主事等の各種主任が受講する研修
- ・実習助手、寄宿舎指導員等が職務を遂行する上で必要な資質能力の育成を目指す研修

###### 【その他】

- ・任期付教員、会計年度任用職員、新規採用内定者に対する研修

###### イ 専門研修

- ・授業、生徒指導、教育業務、組織運営に関する基礎的、実践的な内容を扱う研修

###### ウ 特別研修

- ・大学、教職大学院、研究機関、民間企業、在外教育施設等へ一定期間派遣する研修

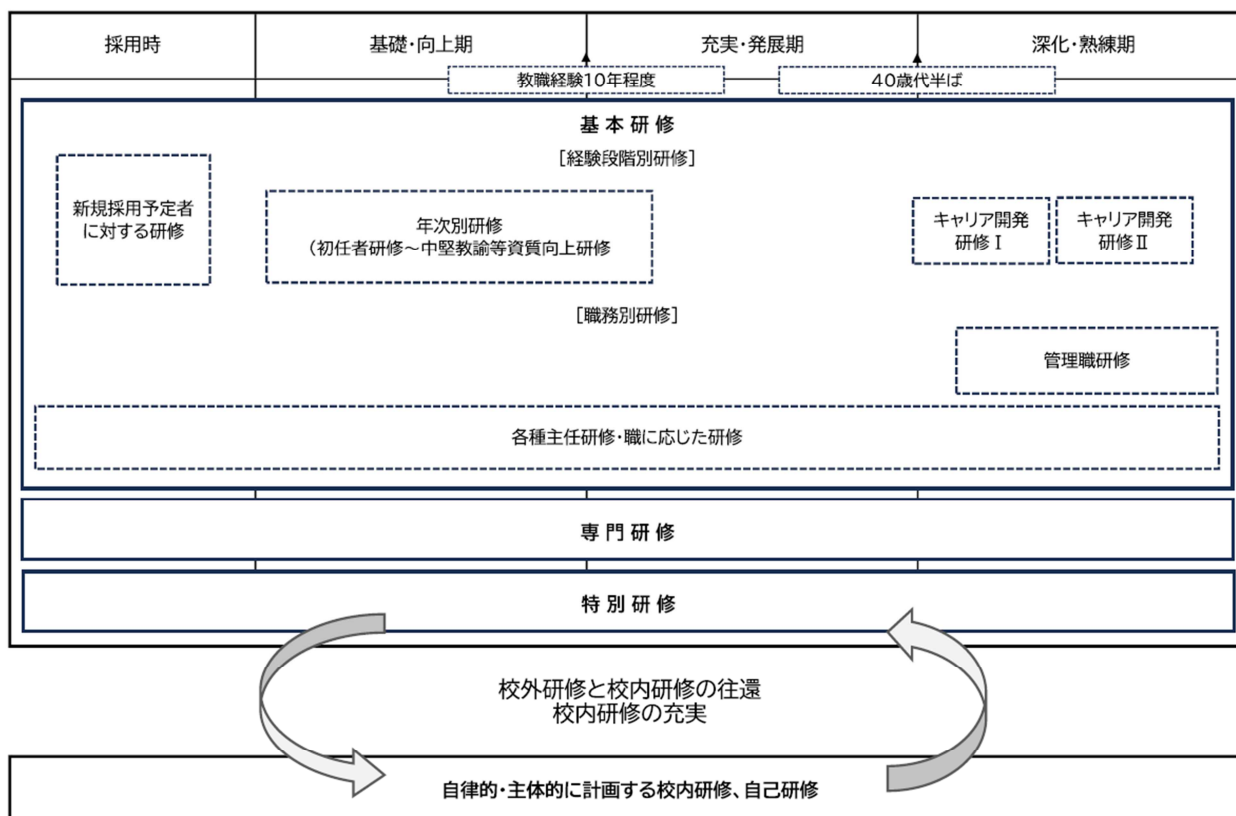
##### (2) 校内研修

###### ア 県教育委員会が指定する研修

- ・年次別研修における校内研修
- ・職務別研修等の伝達研修

###### イ 各学校が自律的、主体的に計画する研修

#### 2 研修体系



## IV 教員研修の実施方針

### 1 実施方針

「有徳の人」の育成を目指し、生涯を通じて学び続け、子どもたちの伴走者として夢の実現へと導く教員を育むため、教員研修をととして「静岡県校長育成指標」・「静岡県教員育成指標」に示した資質能力を育成する。

### 2 研修実施上の留意事項

#### (1) キャリアステージに応じた資質能力の向上

学校教育におけるニーズが多様化しており、高い専門性や指導力、意欲等を持った教員の育成が求められている。「静岡県校長育成指標」及び「静岡県教員育成指標」を踏まえ、教員のキャリアステージに応じた研修を効果的、効率的に実施し、資質能力の確実な向上を図る。

#### (2) 時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法への転換

個別最適な学びと協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、子どもたちの学び（授業観・学習観）の転換が求められている。また、生徒指導提要が改訂され、生徒指導の基本的な進め方や考え方等が再整理されるとともに、こども基本法の制定により、子どもの権利擁護や意見を表明する機会の確保等が法律上位置付けられた。これらを踏まえ、時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法の転換について、研修主催者において研修の目的や内容に応じて留意する。

#### (3) 研修観の転換

校長や教員の資質能力の向上のため、校外研修や校内研修において、校長や教員自身の学び（研修観）の転換を図り、個別最適な学びと協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現に留意する。

その際、研修主催者において、教員が自ら問いを立て、実践の振り返りや協働的な対話、知識の習得を重ねながら、自他の価値観に気づき、実践的な力を磨く研修の在り方を意識する。

#### (4) 研修の成果の確認

受講者が研修の成果を職務に生かすことができるようにするため、研修の企画段階において、研修の成果の確認方法を明確にする。研修の成果の確認は、テストの実施やレポート・実践報告書の作成等により、当該研修によって身に付いた知識・技能を確認したり、学んだ理論や得られた課題意識、他者との対話を手がかりに自らの実践内容を省察したりするなど、研修の実施方法や内容等に応じて工夫する。

特に、オンデマンド配信型の研修動画については、知識・技能の習得状況を確認するためのテストを行うなど、受講者が研修の成果を確認できるようにする。

なお、これらの成果の確認に当たっては、受講者の負担に配慮する。

#### (5) 校内研修の充実

校内研修は、それぞれの学校の教育課題に対応した協働的な学びを学校組織全体で行い、その成果を教職員間で共有することにより、学校の組織力を高め、効果的な学校教育活動の実施にも資するものである。よって、その重要性に鑑み、県教育委員会主催研修を充実させるとともに、校内研修の充実を図るためのリーフレットの配布や学校等支援研修、定期訪問等を通じて、各学校における校内研修を支援する。

#### (6) 実施方法の最適化、効果的・効率的な方法による実施

研修効果の最大化が図られるよう、集合（対面）型の研修だけでなく、リアルタイム配信型（同時双方向型）やオンデマンド配信型の研修を組み合わせるなど、実施方法の最適化を図る。また、校長及び教員の多忙化や、研修の実施・受講に要する時間や資源を考慮しつつ、校外研修における研修内容の重点化や精選なども含め、効果的・効率的な研修の実施に留意する。

##### 【例】

- ・ 校外研修と校内研修の一体的実施（研修と実践の往還）
- ・ オンライン研修（リアルタイム配信型・オンデマンド配信型）の拡充
- ・ 東部地区における研修会場の設定
- ・ 高等教育機関、民間企業、行政機関との連携

#### (7) 研修の評価

研修主催者が研修実施の妥当性や研修内容及び方法の改善点を確認するため、受講者に対する無記名のアンケート調査を実施し、研修を評価する。アンケート調査の項目は「目標達成度」、「内容満足度」、「講師の妥当性」等とし、6件法により実施する。上記項目以外に、研修主催者において必要な事項を追加することができる。

また、所属校における研修成果の反映状況を確認し、研修の改善を図るため、一定期間経過後に受講者や学校長に対して追跡調査を実施する。追跡調査は、学校の負担感を考慮し、新規研修や主な充実・改善研修等、必要性の高い研修のみとする。

#### (8) 研修を奨励するための方途

「研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォーム」を導入することにより、研修を一元管理して情報を提供するとともに、研修受講履歴の記録や多種多様な研修動画コンテンツの活用を推奨し、校長及び教員の資質向上を支援する。

また、研修ガイドブック（電子版）を作成し、研修について周知するとともに、総合教育センターウェブサイトや静岡県教育委員会 Facebook 等を通じて、研修情報を発信する。

併せて、総合教育センターの研究事業の成果を学校に還元し、教育に関する諸課題の解決に向けた学校や教職員の取組を支援するため、研究報告会を開催する。

## 【成果指標】

内容		R 2 時点	R 4 時点	R 7 目標
1	「学校生活が楽しい」と答える児童生徒の割合	86.6%	85.3%	100%
2	「学校に信頼できる先生がいる」と答える児童生徒の割合	81.0%	79.7%	100%
3	「授業の内容がよく分かる」と答える児童生徒の割合	小 90.0%	90.0%	93.0%
		中 85.4%	79.3%	92.0%
		高 79.9%	79.6%	90.0%
		特 92.3%	89.4%	100%
4	研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員の割合	小 97.2%	86.6%	100%
		中 92.0%	80.1%	
		高 81.0%	71.4%	
		特 95.5%	86.4%	

## 【活動指標】

内容		R 2 時点	R 4 時点	R 7 目標
1	「児童生徒一人一人に応じた指導ができる」と回答した教員の割合	-	91.2%	100%
2	「教育活動（部活動を含む）において、地域人材や民間企業と連携・協働した」と回答した学校の割合	地 67.0%	72.8%	80.0%
		企 38.7%	50.5%	50.0%
3	「授業に I C T を活用して指導することができる」と答えた教員の割合	65.7%	77.3%	100%
4	「児童生徒の I C T 活用を指導することができる」と答えた教員の割合	68.4%	78.6%	100%
5	「情報活用の基盤となる知識や態度を指導することができる」と答えた教員の割合	81.1%	86.1%	100%
6	本県教員等指標に示された資質能力を意識して資質向上に努めている教員の割合	-	75.0%	100%

内容		R 4 時点	R 6 予定	R 7 目標
7	オンライン研修数（リアルタイム配信型、オンデマンド配信型、ハイブリッド型）	65	63	75
8	集合とオンラインのハイブリッド型研修数	7	9	20
9	東部地区に会場を設定した研修数	19	15	25
10	学校等支援研修実施件数	210	-	250
11	教職大学院等の高等教育機関所属職員が講師を務める研修数	42	57	50
12	民間企業の職員が講師を務める研修数	15	12	20
13	行政機関の職員が講師を務める研修数	15	17	20

### 3 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

令和5年度から、任命権者による校長及び教員ごとの研修に関する記録の作成及び指導助言者\*による校長及び教員に対する資質の向上に関する指導助言の制度が始まった。指導助言に当たっては、指導助言者が、当該校長や教員の研修履歴を活用し、対話に基づく受講奨励を行う。

教員には、時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法を身に付け、児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、その主体的な学びを支援する伴走者として、児童生徒を導く資質能力を身に付けることが求められる。

本制度により、教員等はこれまで蓄積してきた自らの学びを客観視した上で、さらに伸ばしていきたい分野・領域や新たに能力開発をしたい分野・領域を見出すことができ、主体的・自律的な目標設定やこれに基づくキャリア形成につながることを期待される。

対話に基づく受講奨励の意義は、教員等と指導助言者とが対話を繰り返す中で、教員等が自らの研修ニーズと自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことにある。よって、研修履歴を記録すること自体を目的化することなく、教員等の意欲・主体性と調和したものとなるよう、当該教員等の意向を十分にくみ取って行うことが必要である。

\*「指導助言者」…… 公立の小学校等の校長及び教員のうち、県費負担教職員の場合は市町教育委員会、それ以外の場合は任命権者

#### (1) 研修履歴の記録の目的

研修履歴の記録は、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の際に当該記録を活用することにより、教員等が自らの学びを振り返るとともに、指導助言者が研修の受講奨励を含む適切な指導助言を行うことにより、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することを目的とする。

#### (2) 対象となる教員等の範囲

公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師（教育公務員特例法施行令（昭和24年政令第6号）第2条に規定する臨時的に任用された者等を除く。）

#### (3) 研修履歴の記録の範囲

- ア 県教育委員会が実施する研修
- イ 静岡大学教職大学院・常葉大学教職大学院と県教育委員会の連携研修
- ウ 教職員支援機構主催研修（県が受講者を推薦した研修に限る。）
- エ 大学院修業休業により履修した大学院の課程等
- オ 任命権者が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得

#### (4) 研修履歴の記録の内容

実施年度、研修名、区分（悉皆、推薦、希望等）、開催日、会場、実施形態（集合研修、リアルタイム配信型研修等）、対象（校種）、資質能力、キャリアステージ、目標、内容、研修主管課等

(5) 研修履歴の記録の方法

研修受講履歴記録システムにより、県の各研修主管課が記録する。

(6) 研修履歴の記録の時期

県の各研修主管課が受講の修了を確認した後、速やかに研修受講履歴記録システムにおいて修了認定を行い、記録を作成する（年次別研修等、修了認定までに時間を要する研修についても、研修実施年度内に記録を作成）。

(7) 研修履歴の記録の閲覧・提供

研修履歴の記録は、研修受講履歴記録システムを通じて、当該教員等が個別に閲覧することができる。また、当該教員等が所属する学校の管理職や、学校を管轄する教育委員会も閲覧することができる。

(8) 対話に基づく受講奨励の方法・時期

ア 方法

- ・ 県教育委員会は県立学校の校長に対して、市町教育委員会は市町立学校の校長に対して、当該校長がその職責、経験及び適性に応じた資質の向上のための取組を行うことを促進するため、指導助言者として資質の向上に関する指導助言等を行う。その際、「静岡県校長育成指標」、「静岡県教員研修計画」、「研修ガイドブック」に加えて、当該校長の研修履歴を活用する。
- ・ 校長は所属校の教員に対して、当該教員がその職責、経験及び適性に応じた資質の向上のための取組を行うことを促進するため、指導助言者である教育委員会の指揮監督の下に、資質の向上に関する指導助言等を行う。その際、「静岡県教員育成指標」、「静岡県教員研修計画」、「研修ガイドブック」に加えて、当該教員の研修履歴を活用する。

イ 時期

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の時期については、例えば、人事評価に関わる期首面談や期末面談の機会を活用するなど、各学校等の実情に応じて設定する。ただし、人事評価に関わる期首面談や期末面談の機会を活用する場合には、人事評価制度との趣旨の違いに留意する。

【「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」に関する役割分担】

① 県教育委員会	・ 教員研修計画の策定、研修事業の企画・実施 ・ 研修履歴の記録・提供 ・ 県立学校長に対する研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励
② 県立学校長	・ 所属する教員に対する研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励
③ 市町教育委員会	・ 市町立学校長に対する研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励
④ 市町立学校長	・ 所属する教員に対する研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等のスケジュール（例）

時期		内容	教員	学校管理職等
4月	期首面談前	○指標に基づき、各教員のキャリアステージと、今年度、特に伸ばしたい資質能力の項目等を確認	○指標に基づき、今年度、特に伸ばしたい資質能力を考え、自己目標を設定し、自己目標シートを提出する。 ○特に伸ばしたい資質能力を踏まえ、受講する研修について検討する。 【研修の受講を検討する際の参考資料】 ・静岡県教員育成指標 ・「静岡県教員研修計画」 ・「研修ガイドブック」 ・自己の研修受講履歴 ・教職員支援機構の動画教材 ・国立特別支援教育総合研究所 NISE 学びラボ など	○当該教員について、指標と自己目標シートを照らして内容を確認する。 ○当該教員の資質向上に向けた人材育成の方針を検討する。
5月 6月	期首面談	○自己目標の設定 ○受講についての対話 ○受講する研修の決定	○学校管理職等との対話をとおして、自らの職責、経験及び適性に応じて伸ばしたい資質能力と、資質能力の向上に向けて受講する研修について検討し、決定する。  【活用するもの】 ・「静岡県教員育成指標」 ・「静岡県教員研修計画」 ・「研修ガイドブック」 ・自己の「研修受講履歴」	○経験年数やキャリアステージ、主な校務分掌等に基づき、教員の考えを尊重しながら対話による受講奨励を行う。
7月 ～ 12月		○研修の受講	○研修の受講・研修内容の実践や校内への還元等を行う。	○機会を捉えて資質向上に向けた指導助言を行う。
1月 ～ 3月	期末面談	○自己目標・学びの成果の振り返り ○次年度の見通し	○面談にて自己目標・学びの成果の振り返りをして指導助言を受ける。 ○次年度以降の職務開発の目標について話し合い、次年度の見通しをもつ。  【活用するもの】 ・「静岡県教員育成指標」 ・自己の「研修受講履歴」	○面談において、振り返りや実施した研修による成果等について指導助言を行う。 ○その際、次年度以降の職務開発の目標についても指導助言を行い、次年度の見通しをもてるようにする。

## 対話に基づく受講奨励Q & A

Q 1 臨時的任用教員等は、受講奨励の対象か。

A 1 法律に基づく対象ではありません。ただし、臨時的任用教員等も教育公務員特例法第 21 条第 1 項の規定により、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならないことと変わらないことから、例えば人事評価の期首・期末面談の場を活用して、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を行うことも考えられます。

Q 2 対話において、市町教育委員会が実施した研修や学校の校内研修・研究、自主的に参加した研修の研修履歴を活用することは可能か。

A 2 可能です。研修受講履歴記録システムでは、市町教育委員会が実施した研修や学校の校内研修・研究、自主的に参加した研修等の受講履歴を、教員自身が手動で記録することができます。

Q 3 受講奨励の対象となる研修には、どのような種類や形態があるのか。

A 3 研修の種類は、校外研修や校内研修、自主研修等が考えられます。また、形態は集合研修やリアルタイム配信型研修、オンデマンド配信型研修等が考えられます。

独立行政法人教職員支援機構や独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が提供する動画教材を活用することもできます。

○独立行政法人教職員支援機構

**NITS 動画教材** で検索

(<https://www.nits.go.jp/materials/>)

○独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

**NISE 学びラボ** で検索

([https://www.nise.go.jp/nc/training\\_seminar/online](https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online))

Q 4 教員等が自主的に参加する研修には、どのような研修があるのか。

A 4 例えば、他の都道府県や市町村、教職員支援機構、大学・教職大学院、教科研究会、民間企業等の様々な主体が主催する研修・講習等（研修・講習等において授業実践を行った場合を含む）が該当します。

Q 5 教員に対する受講奨励は、必ず校長が行わなければならないのか。

A 5 校長の適切な権限の委任の下で、副校長や教頭など、他の学校管理職が行うこともできます。また、学校の規模や状況に応じて、同じく校長の適切な権限の委任の下で、主幹教諭などの学校管理職以外の者に対して、受講奨励の一部を担わせることも可能です。

Q 6 受講奨励による研修は、必ず受講しなければならないのか。

A 6 法定研修や悉皆の年次別研修は、合理的な理由がある場合を除き、受講する必要があります。また、各学校で行われる校内研修も、勤務上の支障がある場合を除き、参加する必要があります。

ただし、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励は、研修の管理を目的とするものではなく、教員等の職責、経験及び適性に応じた資質の向上のために行われます。受講奨励に当たっては、一人一人の教員等が、自らの専門職性を高め、誇りを持って主体的に研修を行うために、その意欲と主体性を尊重することが重要です。

Q 7 研修履歴は人事評価に反映されるのか。

A 7 研修履歴や研修量の多寡そのものが人事評価に直接反映されるものではありません。一方、研修を行った結果として教員等が発揮した能力や挙げた業績については、人事評価の対象となります。



## 対話に基づく受講奨励のイメージ（教員）

教員は、「教員育成指標」を基に自らの資質能力を見つめ直すとともに、今後伸ばすべき資質能力について、研修履歴や受講予定の研修、受講を検討している研修等を踏まえ、学校管理職等と対話を行う。

学校管理職は、「教員育成指標」を基に、当該教員の資質能力を確認するとともに、当該教員の研修ニーズに加え、職責や経験、適性、期待する専門性や役割等を踏まえ、教員に対して受講奨励を行う。

### 【対話の例】

基礎・向上期の教員	今後、学級担任を務める可能性があり、学級経営に求められる資質能力を向上させたいと考えたため、「学級経営力向上研修」（リアルタイム配信型研修）の受講について学校管理職と検討する。
充実・発展期の教員	学校管理職として、地域との連携・協働を推進することにより、学校の教育効果を高めたいと考えている。その中心的な役割を担うことを期待する教員と「地域と学校の連携・協働実践研修」（ハイブリッド型）の受講について検討する。
深化・熟練期の教員	個別最適な学びを実現するため、授業において ICT を効果的に活用したいと考えた。ICT を活用した授業イメージについて学ぶため、「ICT を活用した授業動画の共有」（オンデマンド配信型研修）の受講について学校管理職と検討する。
教務主任	学校としてカリキュラム・マネジメントを推進する必要があることから、独立行政法人教職員支援機構の動画教材「校内研修シリーズ」の「カリキュラム・マネジメントとは」の視聴について学校管理職と検討する。
人権教育担当	学校経営目標「自他を大切にし、思いやりあふれる学校」を踏まえ、学校管理職と「人権教育担当者研修会」（オンデマンド配信型研修）の受講により育成が期待できる資質能力を確認する。また、受講後の校内における伝達研修の実施方法について相談する。
学年主任	所属校において不登校の生徒数が増加傾向にある現状を踏まえ、「不登校に対するチーム支援の在り方」（集合研修）の受講について学校管理職と検討する。
小中学校 6 年次研修を受講する教員	「選択研修」（1 日）を「研修ガイドブック」から選択する際、自己の校内での役割を踏まえて研修の候補を選び、学校管理職に相談する。
小中学校中堅教諭等資質向上研修を受講する教員	校外研修のうち、「社会体験研修」（2 日）を実施する民間企業等を選択する際、当該教員に期待する役割を踏まえ、組織運営力の育成に資する研修先となるよう、学校管理職が助言する。
高等学校中堅教諭等資質向上研修を受講する教員	校内研修の「チーム研修」（年 2 回以上）について、所属校の「目指す学校像」を踏まえた内容となるよう、学校管理職が助言する。
特別支援学校 2 年次研修を受講する教員	校内研修について、自己の課題設定と課題解決に向けた取組について計画し、学校管理職に相談する。また、取組を行う過程で、学校管理職が助言を行う。

## V 実施研修

### 1 新規研修及び主な充実・改善研修

#### (1) 重点取組1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実

- ・ 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化
- ・ ICT等の活用による新たな学びの展開
- ・ 乳幼児の教育・保育の充実

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
○	小学校教員を対象としたオンライン研修コンテンツ動画（静岡大学教科学研究開発センターとの連携研修）	希望	小学校教員を対象に、「新たな教師の学び」に対応した教科指導力の向上に資するオンデマンド研修動画を配信する。（社会、国語、算数、理科、生活、音楽、図画工作、技術、家庭、体育・保健、外国語）	教育政策課
	ICT活用サポート研修	希望	市町教育委員会や県立学校の要望に応じたサポート研修（出前研修）を行う。	教育DX推進課 総合教育センター
	ICT活用指導力向上研修（基礎編）	希望	ICTの基本的な使い方などを理解するとともに、授業や校務にICTを活用する意欲・能力を高める研修を実施する。	教育DX推進課
	ICT活用指導力向上研修（実践編）	希望	ICTを活用して、授業における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる場面を作る手法を、操作体験を中心の研修を実施する。	教育DX推進課 総合教育センター
	情報活用基礎研修	悉皆	情報モラルや情報活用に関する講義を行う。県立学校の全教員悉皆のオンデマンド研修とする。	教育DX推進課
○	特別支援学校高等部段階におけるICT機器を活用した進路指導研修	希望	県内でスマート農業を実施している企業と連携を図り、特別支援学校の生徒だけでなく、高等学校で支援が必要な生徒のICT機器を取り入れた進路指導について学ぶ。	特別支援教育課
	小学校理科教材づくり研修（観察・実験：地球・粒子領域）	希望	実験を中心とした、半日研修で実施する。	総合教育センター
	小学校算数科授業づくり研修～『データの活用』統計的な内容の充実～	希望	講演内容を1つの領域に限定することで、より具体的な授業実践力を高める研修とする。	総合教育センター
	中学校数学科授業づくり研修～データ活用領域の指導と評価～	希望	講演内容を4領域の中から1つに限定することで、より具体的な授業実践力を高める研修とする。	総合教育センター
	音楽科授業づくり研修～日本の伝統音楽の指導法～	希望	前年度まで「音楽づくりや創作」についての内容であったが、今年度からは「日本の伝統音楽の指導法」とし伝統音楽の専門知識や授業で使用できる教材を学ぶ研修とする。	総合教育センター
	家庭科授業づくり研修（小・中）～食生活に係る項目を中心に～	希望	小中の家庭科を学ぶきっかけとするため対象に高校教員を追加、併せて栄養教諭も参加可能とする。	総合教育センター
	STEAM教育基礎研修	希望	オンライン研修から集合研修に戻す。	総合教育センター
	プログラミング教育実践研修	希望	対象者に中学校教員を追加し、半日研修に変更する。	総合教育センター
	家庭科/福祉科教員のための授業づくり研修	希望	集合研修1日からオンライン半日研修に変更する。	総合教育センター

#### (2) 重点取組2 「技芸を磨く実学」の奨励

- ・ 社会的・職業的自立に向けた教育の推進
- ・ スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進
- ・ 多彩で魅力的な文化・芸術の創造・発信
- ・ 地域資源の活用と未来への継承

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	工業実習研修会	悉皆	教諭（実習）については、採用5年目までを対象とされていたが、採用2年目までとする。今年度は、教材に関する内容を取り入れ、電子回路実習又はプログラミング実習を取り入れる。	総合教育センター

	産業教育専門研修	悉皆	静岡県の産業教育を推進していくための視点を養うことを目的に、教科横断で行う協議の時間を増やす。地域と連携した教育活動を展開できる実践力を身に付ける。	総合教育センター
	工業科教員のための技術力・指導力向上研修	希望	機械と電子の内容を隔年で交互に実施しており、今年度は旋盤をテーマにする。	総合教育センター
○	高等学校芸術教科専門研修	希望	教員としての視野を広げるために、県の文化推進事業に関わるアートマネジメントの講義を取り入れた研修を計画した。	総合教育センター

### (3) 重点取組3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

- ・高等学校等の魅力化・特色化
- ・教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化
- ・教職員の働き方改革の推進
- ・学校施設等の安全・安心の確保

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
○	【学校管理職対象】教員の成長を支援するメンタリングスキル向上研修	希望	学校管理職が所属校の教員の資質能力やキャリア形成を的確に捉え、その成長を適切に支援するためのメンタリングに関する知識や手法を習得する。	教育政策課
○	大学と連携・協働した教員研修プログラム	希望	大学と教育委員会が連携・協働し、学校のニーズを踏まえた研修プログラム(動画コンテンツ)を開発し、教員の学びの機会を充実を図る。	教育政策課
	「総合的な学習の時間」における探究的な授業づくり研修	希望	総合的な学習の時間をプロデュースする民間企業と連携し、探究的な授業づくりを推進するための研修プログラムを実施する。	教育政策課
	研修主任研修会	悉皆	授業づくりに係るリーフレットや静岡県教師用指導資料等の周知、活用をすることで校内研修の活性化を図る。	義務教育課
○	【学校管理職対象】働き方改革における管理職の役割	希望	働き方改革を進めるにあたり、学校管理職の役割を学ぶ研修を実施する。	教育DX推進課
	公立高等学校探究学習担当者研修会	悉皆	探究学習のカリキュラム開発や、指導についての教員のスキル向上を図るため、研修を通して各校の担当者が顔の見える関係をつくり、変化の激しい時代を生きる生徒に求められる資質・能力を育成するため探究的学びを充実させる。	高校教育課
	公立高等学校進路指導主事研修会	悉皆	高等学校における進路指導の在り方及び当面する進路指導上の諸課題、キャリア教育の推進についての理解を深め、各学校の進路指導の改善・充実につなげていく。	高校教育課
○	キャリア開発研修Ⅰ	悉皆	講義や演習を通じて、自己の在り方についての認識を深め、深化・熟練期の教員に求められる組織運営力の向上を図る。	総合教育センター
○	キャリア開発研修Ⅱ	悉皆	研修員が主体的に計画した研修を実施し、その研修内容を所属校に還元することで、組織における自己の在り方について自覚するとともに、組織運営力の向上を図る。	総合教育センター
○	研修主任研修(高)	悉皆	校内研修の企画・運営に関する知識・方法についての理解を深める。本研修には、校内研修の実践事例を紹介する電子版リーフレットの活用に関する内容を含む。	総合教育センター
○	研修主任研修(特)	悉皆	校内研修を充実させるための知識・方法についての理解を深める。本研修には、校内研修の充実のための電子版リーフレットの活用に関する内容を含む。	総合教育センター
	マネジメント研修	推薦	高校、特別支援学校教員は2年間で実施していたが、2年目に行っていた研修を1年目に実施し、同一年度内で修了するようにした。	総合教育センター
	新任校長研修(高・特)	悉皆	2年間で実施していたが、2年目に行っていた研修を1年目に実施し、同一年度内で修了するようにした。	総合教育センター
	新任副校長研修(高・特)	悉皆	2年間で実施していたが、2年目に行っていた研修を1年目に実施し、同一年度内で修了するようにした。	総合教育センター
	新任教頭研修(高・特)	悉皆	2年間で実施していたが、2年目に行っていた研修を1年目に実施し、同一年度内で修了するようにした。	総合教育センター
	マネジメント講座11-勤務条件制度・給与制度・旅費制度-	希望	全講義・演習をオンラインで実施する。	総合教育センター

(4) 重点取組4 多様性を尊重する教育の実現

- ・人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着
- ・多様な課題に応じたきめ細かな支援
- ・特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実
- ・外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	人権啓発指導者養成講座	希望	県人権啓発センターと連携し、本研修と従来の「人権教育指導者研修会」を統合することにより、多様な人権課題に対応する研修へとリニューアルを図る。	教育政策課
○	通級指導教室中核経験者研修	推薦	各市町の中核となる通級指導教室の担当歴が長い教職員を対象に、若手育成のためのノウハウや育成のため体制整備について考える	義務教育課
○	(新任)通級指導教室担当者研修(特担研と離す)	悉皆	通級指導教室の担当者(1~3年目)に対して、教室経営や授業づくり、心構え等について学ぶ機会とする。	義務教育課 静東・静西教育事務所
○	心のユニバーサルデザイン研修	推薦	通常の学級担任の経験者に対して、特別支援教育に関する基本的な内容や児童生徒の理解について学ぶ機会とする。	義務教育課
○	児童生徒のキャリア発達と教福連携研修	推薦	特別支援教育コーディネーターを対象に、障害に対する合理的配慮や個別の支援会議の在り方等について学び、考える機会とする。	義務教育課
	小・中学校初任者研修、高等学校初任者研修、特別支援学校初任者研修、同6年次研修、同中堅教諭等資質向上研修における講義「人権教育」	悉皆	人権教育を通じて、他者への共感や思いやりを持つ態度、多様性を尊重する意識を育むこと、また、国籍、性別、宗教、障害の有無、境遇等に対する偏見や差別のない社会の実現が求められていることについて取り上げる。併せて、教員自身の人権感覚を磨くことが重要であることを重視する。	総合教育センター
○	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法 ー自閉症・情緒障害特別支援学級担任スキルアップ研修・TEACCHプログラム編ー	希望	自閉スペクトラム症の障害特性とそれに応じた支援について理解し、自閉スペクトラム症の児童生徒の立場に立った具体的な支援方法について検討することができる研修を、オンラインで実施する。	総合教育センター
○	多様な背景を持つ児童生徒の支援ー関係機関との連携の在り方ー	希望	不適応を起こしている児童生徒への対応についての理解を深めるとともに、学校内や関係機関と連携した支援方法について学ぶ。	総合教育センター
○	SELを生かした不登校の未然防止	希望	不登校の未然防止として、子どもの実情やSEL(Social Emotional Learning)について理解を深める。	総合教育センター
○	困難さを抱える子どものニーズに応じた連携・協力ー効果的なケース会議の進め方ー	希望	講演・演習を通じて、ケース会議の開き方や進め方について理解し、障害や困難さを抱える子どものニーズに応じた支援が提供できるための研修を実施する。	総合教育センター
○	知的障害のある子どもの国語の単元づくりー子どもの思考に沿った授業デザインー	希望	知的障害のある児童生徒への教科指導についての理解を深め、知的障害のある児童生徒の単元づくりに資する研修を、オンラインで実施する。	総合教育センター
○	共通教科「理数」から始まる探究的な学び	希望	共通教科「理数」の基本的な考え方の理解を深め、探究活動の単元構想、探究の指導方法の充実に資する研修とする。	総合教育センター
	学習指導要領に基づく各教科等を合わせた指導	希望	知的障害のある児童生徒の各教科等を合わせた指導について理解を深め、各教科等を合わせた指導の授業づくりに資する研修を、オンラインで実施する。	総合教育センター

(5) 重点取組5 グローバル・グローバル人材の育成

- ・国際的な学びと地域学の推進
- ・優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実
- ・地域産業を担う人材の育成
- ・自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成
- ・環境保全と経済活動の両立を支える人材の育成

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
○	南極派遣プログラム	推薦	国立極地研究所による南極地域観測隊に教員が同行し、南極昭和基地から衛星回線を使い、南極の自然、地球環境、国際協調に関する意識向上を目的とした授業の実施を主目的とする。南極という特殊な環境下からの衛星授業や南極での活動は、遠隔授業、自然科学、探究活動、国際理解活動等について、通常の研修では得ることができない知見をもたらせることが期待でき、生徒に対して教科指導や探究活動等の指導に還元できる。	高校教育課 (国立極地研究所)
	SDGs教育推進研修	希望	JICAによるワークショップ型研修とすることにより、受講者の主体的かつ協働的な学びを実現し、学校におけるSDGs教育を推進する。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)
○	教員向け消費者教育実践講座(家庭科教員向け)	希望	全教員(希望者)を対象とした同研修を継続しつつ、新たに家庭科教員向けの研修を新設し、授業における消費者教育の実践について学ぶ機会を提供することとおして、学校における消費者教育の取組みを推進する。	県民生活課 教育政策課

#### (6) 重点取組6 高等教育の充実

- ・高等教育機能の教科

\*公立大学法人が推進する教育・研究活動や大学と企業、高等学校等との連携により推進する。また、「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の取組への支援等により推進する。

#### (7) 重点取組7 生涯を通じた学びの機会の充実

- ・全世代に対する学びの機会の充実
- ・誰もがともに学ぶことのできる機会の充実

\*生涯学習や社会教育を推進する人材の養成や資質向上、市町や関係機関と連携した多様な学習情報の提供、県民が図書館を利用しやすい環境の整備等により推進する。

#### (8) 重点取組8 社会とともにある開かれた教育行政の推進

- ・社会全体の意見を反映した教育行政の推進
- ・市町と連携した教育行政の推進

\*「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」及び「静岡県教育振興基本計画」の進行管理や、「静岡県総合教育会議」における社会の変化に対応した教育施策についての協議・調整、教育に関する情報の積極的な広報、各市町の主体的な取組への支援等により推進する。

#### (9) 重点取組9 地域ぐるみの教育の推進

- ・学校・家庭・地域の連携推進
- ・家庭や地域における教育力の向上

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
○	地域と学校の連携・協働実践研修	希望	地域と学校の連携・協働の在り方やコミュニティー・スクールと地域学校協働本部についての理解を深め、地域と学校の連携・協働の効果的な活用の仕方を学ぶことができる研修を、ハイブリッド型で実施する。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)
○	日本の学校、なんでやねんー学校の果たす役割について考えるー	希望	学校教職員だけでなく多様な大人が関わる教育活動の必要性を理解し、学校教育の果たすべき役割について再考する研修を、オンラインで実施する。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)

## 2 悉皆研修

### 【小・中学校年次別研修】

#### ○初任者研修

回	日数	概要
第1回	1日	辞令伝達式
第2回	1日	教員の勤務・服務・給与、学級経営、接遇・マナー、オリエンテーション、1か月の振り返り
第3回	2日	生徒指導、教育相談、子ども・保護者との基本的な接し方、授業づくりの基本、教科別研修
第4回	1日	人権教育、特別支援教育、メンタルヘルス、小学校教育の今日的課題（外国語教育）、中学校教育の今日的課題（授業における安全管理）、4か月の振り返り
第5回	1日	教科別研修
第6回	2日	特別活動、道徳教育、特別の教科「道徳」、総合的な学習の時間、教育の情報化、身体表現活動
第7回	1日	初任者による公開授業（教科別）、公開授業と授業づくりに関する研究協議
第8回	1日	課題研究実践報告会、1年間の振り返り
この他に、市町教育委員会主催の研修及び校内研修があります。		

#### ○6年次研修

回	日数	概要
全体研修Ⅰ	1日	オリエンテーション、教科別研修（講義、演習、協議）
全体研修Ⅱ	1日	教科別研修（講義、演習、協議）、研修のまとめ・振り返り
この他に、選択研修（希望研修から1つ選択）、所属校授業実践Ⅰ及びⅡがあります。		

#### ○中堅教諭等資質向上研修

回	日数	概要
第1回	1日	教育相談、学校組織マネジメントの基礎、これまでの振り返り
第2回	1日	勤務・服務、特別支援教育（オンデマンド）、キャリア教育（オンデマンド）
第3回	1日	教科別研修Ⅰ、学校と警察の連携
第4回	1日	メンタルヘルス、組織におけるミドルリーダーの役割、コーディネーター
第5回	1日	教科別研修Ⅱ、ミドルリーダーとしての展望
この他に、社会体験研修、異校種体験、校内研修があります。		

## 【高等学校年次別研修】

### ○初任者研修

回	日数	概要
第1回	1日	教職員の服務・モラル、メンタルヘルス、接遇・マナー、1か月を振り返る
第2回	1日	授業の基礎技術、授業改善、教科別研修
第3回	2日	部活動指導、特別支援教育、生徒指導、教育相談、ファシリテーション、生徒指導における課題解決、高等学校における生徒指導
第4回	1日	キャリア教育、特別活動、教科別研修
第5回	2日	教育の情報化、人権教育、身体表現活動、道徳教育、ホームルーム運営
第6回	1日	教科別研修（学校会場）
第7回	1日	総合的な探究の時間、教科別研修
第8回	1日	教科別研修、1年間を振り返る
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

### ○2年次研修

回	日数	概要
－	1日	ホームルーム経営、チーム研修の活動報告、教科別研修
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

### ○3年次研修

回	日数	概要
－	1日	合同教科別研修（6年次研修者、中堅教諭等資質向上研修者と合同実施）、チーム研修の活動報告
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

### ○6年次研修

回	日数	概要
第1回	1日	教科別研修
第2回	1日	合同教科別研修（3年次研修者、中堅教諭等資質向上研修者と合同実施）、チーム研修の活動報告
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

### ○7年次研修

校内研修及び自主研修があります。

○8年次研修

回	日数	概要
－	1日	今後の教育改革の方向性、これまでの成果と今後の課題
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

○中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期

回	日数	概要
第1回	2日	教育法規、学校組織マネジメントの基礎、学校内外の環境分析、学校と警察の連携、カリキュラムマネジメントの導入、教科別研修
第2回	1日	合同教科別研修（3年次研修者、6年次研修者と合同実施）、チーム研修の活動報告
第3回	1日	特別支援教育、教育相談、コーディネート
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

○中堅教諭等資質向上研修Ⅱ期

回	日数	概要
第1回	1日	教科別研修
第2回	1日	社会体験研修及び自主研修報告会、組織におけるミドルリーダーの役割
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

○フォローアップ研修

回	日数	概要
－	2日	自己のキャリアデザインに応じ、自律的、主体的に研修を計画、実施

【特別支援学校年次別研修】

○初任者研修

回	日数	概要
第1回	1日	静岡県の特別支援教育、授業づくり、ソーシャルスキル
第2回	1日	地区別研修（特別支援学校にて） 学校概要説明、校長講話、授業参観、研究協議等
第3回	2日	特別支援学校教員に求められていること、勤務・服務、教育相談、授業づくり、メンタルヘルス、コミュニケーション、4か月の振り返り
第4回	2日	授業づくり、教育の情報化、障害別分散会、ファシリテーション、人権教育、特別支援学校における危機管理、学校を紹介しよう
第5回	1日	障害別研修（特別支援学校にて） 校長講話、学校概要説明及び対象障害種への教育について、授業参観、研究協議等
第6回	1日	地区別研修（小学校にて） 学校概要説明、校長講話、授業参観、研究協議等



第7回	1日	先輩教員の実践に学ぶ、初任者研修指導教員からのアドバイス、初任者研修の自己評価と今後に向けて
この他に、校内研修及び校外研修（自主研修等）があります。		

### ○2年次研修

回	日数	概要
—	1日	1年目に学んだことと今後の課題、学校経営への参画、問題解決に向けての方法
この他に、校内研修及び自主研修があります。		

### ○6年次研修

回	日数	概要
第1回	1日	特別支援教育の現状と課題、学習指導要領、授業づくり
第2回	1日	人権教育、生徒指導、リーダーシップ、授業づくり
この他に、校内研修及び校外研修（自主研修等）があります。		

### ○中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期

回	日数	概要
第1回	2日	教育法規、学校組織マネジメントの基礎、学校内外の環境分析、学校と警察の連携、特別支援教育の現状と課題、学習指導要領、特別支援学校の教科指導
第2回	1日	静岡県の教育行政、人権教育、特別支援学校の組織について考える、今後の目指す教師像
第3回	1日	メンタルヘルスセルフケアとラインケア、教育相談、コーディネート
この他に、校内研修及び社会体験研修があります。		

### ○中堅教諭等資質向上研修Ⅱ期

回	日数	概要
第1回	1日	校内研修の活動報告、特別支援学校の各教科の基本的な考え方、教科の指導計画
第2回	1日	社会体験研修及び自主研修報告会、組織におけるミドルリーダーとしての役割、リーダー研修（校内研修）報告書及び社会体験研修及び自主研修報告書の作成
この他に、校内研修及び自主研修、社会体験研修があります。		

### ○フォローアップ研修

回	日数	概要
—	1日	特別支援教育の現状と課題、学習指導要領、授業づくり、障害特性の理解とそれに応じた指導支援、わたしの目指す授業及び自己課題

## 2 実施研修

### (1) 一覧

- \*「種類」は、「教員研修の構成」(P.6)に基づき、基本研修(経験段階別研修)、基本研修(職務別研修)、専門研修、特別研修、その他(研修体系の中に該当しない研修)に分類している。
- \*「資質能力」は、当該研修において、特に発揮・向上を目指す資質能力がある場合に を付している。

研修名	新規	種類	区分	開催日	開催通知 発出予定時期	研修日数	会場	定員	実施 形態	対象										資質能力				キャリアステージ				基礎研修選択			備考	研修主管課					
										備 考 の 実 施 形 態 が そ の 場 合 の	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務局	教育の現場(組合員対象)	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	マネジメント	人材育成力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	その他	初任	2～6年次			7～10年次				
1 若手教職員メンタルヘルス研修		基本(経)	悉皆	7～8月	5月下旬	0.5	プラザヴェルデ もくせい会館 総合教育センター	640	集合																												教育厚生課 健康・厚生班
2 初任者研修(小中学校)		基本(経)	悉皆	5月～1月	研修実施 3週間前	9	静岡県総合教育センター、 他	310	集合																												義務教育課 人事班
3 2年次研修(小中学校)		基本(経)	悉皆	市町が指定する日		2	幼稚園及び興校様校		集合																												義務教育課 人事班
4 3年次研修(小中学校)		基本(経)	悉皆			2	社会福祉施設等		集合																												義務教育課 人事班
5 6年次研修(小中学校)		基本(経)	悉皆	5月～2月	研修実施 3週間前	3	総合教育センター	423	集合																												義務教育課 人事班
6 中堅教諭等資質向上研修(小中学校)		基本(経)	悉皆	5月～11月	研修実施 3週間前	5	総合教育センター他	384	集合																												義務教育課 人事班
7 特別支援学校初任者研修 - センター研修 -		基本(経)	悉皆	5月14日、6月11日、8月11日 ～2日、10月7～8日、11月5日、12月3日、1月21日	研修実施 3週間前	9	総合教育センター他	100	集合																												特別支援教育課 人事班
8 特別支援学校2年次研修 - センター研修 -		基本(経)	悉皆	5月22日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	86	集合																												特別支援教育課 人事班
9 特別支援学校3年次研修		基本(経)	悉皆	随時	5月頃	校外研修 1	特別支援学校等	100	集合																												特別支援教育課 人事班
10 特別支援学校6年次研修 - センター研修 -		基本(経)	悉皆	5月～12月	研修実施 3週間前	2	総合教育センター	127	集合																												特別支援教育課 人事班
11 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修 期 - センター研修 -		基本(経)	悉皆	6月～11月	研修実施 3週間前	4	総合教育センター	110	集合																												特別支援教育課 人事班
12 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修 期 - センター研修 -		基本(経)	悉皆	6月～1月	研修実施 3週間前	2	総合教育センター	100	集合																												特別支援教育課 人事班
13 新規採用自立活動教諭研修		基本(経)	悉皆	5月、6月、8月、7月、10月、12月、2月、3月一部未定	研修実施約3週間前	10日	総合教育センター等	2	集合																												特別支援教育課 人事班
14 自立活動教諭2年次研修		基本(経)	悉皆	12月下旬 他未定	研修実施約3週間前	5	総合教育センター等	0	集合																												特別支援教育課 人事班
15 新規採用寄宿舎指導員研修		基本(経)	悉皆	5月、8月、10月、1月	研修実施約3週間前	校外研修 4	総合教育センター等	若干名	集合																												特別支援教育課 人事班
16 新規採用養護教員研修(校外研修)		基本(経)	悉皆	5～12月	開催月1月前	9	総合教育センター	16	集合																												健康体育課 健康食育班
17 新規任用養護教諭等研修会		基本(経)	悉皆	9月	7月	1	総合教育センター	30	集合																												健康体育課 健康食育班
18 養護教員6年次研修		基本(経)	悉皆	5月、12月、9～12月	開催月1月前	3.5	総合教育センターと 所属校	28	その他																												健康体育課 健康食育班
19 中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)		基本(経)	悉皆	4月～2月	開催月1月前	校内5日 校外7日	総合教育センター	30	その他																												健康体育課 健康食育班
20 新規採用等栄養教諭研修		基本(経)	悉皆	5～1月	開催月1月前	9	総合教育センターと学校 共同調理場	20	集合																												健康体育課 健康食育班
21 栄養教諭2年次研修		基本(経)	悉皆	8～11月	開催月1月前	3	総合教育センター及び学校	14	集合																												健康体育課 健康食育班
22 任期付等学校栄養職員研修会		基本(経)	悉皆	8月上旬	6月中旬	0.5	もくせい会館(予定)	20	集合																												健康体育課 健康食育班
23 栄養教諭・学校栄養職員6年次研修		基本(経)	悉皆	5月、8月、6～12月	開催月1月前	3(選択1日含む)	総合教育センター	8	その他																												健康体育課 健康食育班
24 中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭・学校栄養職員)		基本(経)	悉皆	4月～2月	開催月1月前	校外7(社会体験2日含む) 校内5日	総合教育センター	7	集合																												健康体育課 健康食育班

研修名	新規	種類	区分	開催日	開催通知 発出予定時期	研修日数	会場	定員	実施形態	備の実考 他施形態が 増え の 場合 の	対象				資質能力							キャリアステージ					教員研修選択			備考	研修主管課				
											幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務局	教育指導力 向上 業務 改善	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	管理運営	人材育成力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	その他	特別文 部 省 指定 校 等 教 員 研 修 課			特別文 部 省 指定 校 等 教 員 研 修 課	特別文 部 省 指定 校 等 教 員 研 修 課		
25	公立高等学校初任者研修	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内300 時間以上 +校外12 日	総合教育センター、他	100	集合																										総合教育センター 研修課
26	公立高等学校2年次研修	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内8日 +校外2 日	総合教育センター、他	117	集合																										総合教育センター 研修課
27	公立高等学校3年次研修	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内2日 +校外3 日	各学校会場	115	集合																										総合教育センター 研修課
28	公立高等学校6年次研修	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内4日 +校外3 日	総合教育センター、他	141	集合																										総合教育センター 研修課
29	公立高等学校7年次研修	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内4日 +校外2 日	各会場	138	その他	各所属において実施																									総合教育センター 研修課
30	公立高等学校8年次研修	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内4日 +校外2 日	総合教育センター、他	135	集合																										総合教育センター 研修課
31	公立高等学校中堅教諭等資質向上研修 期	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内5日 +校外6 日	総合教育センター、他	164	集合																										総合教育センター 研修課
32	公立高等学校中堅教諭等資質向上研修 期	基本(経)	悉皆	4月～2月	研修実施 3週間前	校内5日 +校外5 日	総合教育センター、他	140	集合																										総合教育センター 研修課
33	公立高等学校フォローアップ研修	基本(経)	悉皆	4月～2月		2		10	その他	校外研修																									総合教育センター 研修課
34	キャリア開発研修 (高・特)	基本(経)	悉皆	11月20日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	150	集合																										総合教育センター 研修課
35	キャリア開発研修 (高・特)	基本(経)	悉皆	4月～2月		1		130	その他	オンデマンド配信+校外 研修																									総合教育センター 研修課
36	公立高等学校教諭(実習)初任者研修	基本(経)	悉皆	5月13日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	7	集合																										総合教育センター 高等学校支援課
37	新規採用職員研修(小中事務・司書)	基本(経)	悉皆	期4月11・12日 期7月9日 期9月25・26日	研修実施 3週間前	5	総合教育センター	10	集合																										総合教育センター 研修課
38	経験3年職員研修(小・中)	基本(経)	悉皆	期10月23日 11月8日	研修実施 3週間前	2	総合教育センター	10	集合																										総合教育センター 研修課
39	教育行政新任職員研修	基本(経)	悉皆	5月17日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	58+希望	集合																										総合教育センター 研修課
40	キャリア開発研修 (小・中)	基本(経)	推薦	11月19日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	200	集合																										総合教育センター 研修課
41	キャリア開発研修 (小・中)	基本(経)	推薦	4月～2月		1		200	その他	オンデマンド配信+校外 研修																									総合教育センター 研修課
42	特別支援学校フォローアップ研修	基本(経)	希望	5月28日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	20	集合																										総合教育センター 特別支援課
43	静岡県公立学校教職員等採用内定者研修	基本(経)	希望			0.5			ワデマド配 信型のみ																										義務教育課・高校教育 課、特別支援教育課、健 康体育課、総合教育セ ンター
44	相談員研修会	基本(経)	悉皆	通年	(前年度)3月中旬	0.5			ワデマド配 信型のみ																										教育総務課 勤務条件・監察班
45	教職員人事評価制度説明会	基本(経)	悉皆	4月、5月	4月中旬	0.5	県庁		ハイブリッド型																										教育総務課 人事班
46	新任管理者メンタルヘルス研修	基本(経)	悉皆	6～8月	4月下旬	0.5	静岡対政会館	150	その他	オンデマンド配信受講 後、集合で行う																									教育厚生課 健康・厚生班
47	(県立学校)職場の安全衛生管理者研修	基本(経)	悉皆	8～9月	8月中旬	0.5		230	ワデマド配 信型のみ																										教育厚生課 健康・厚生班
48	通級指導教室担当者研修会(発達)	基本(経)	悉皆	7月23日(火)	3月期 6月上旬	1	総合教育センター	160	集合																										義務教育課 指導班
49	通級指導教室担当者研修会(言語)	基本(経)	悉皆	7月31日(水)	3月期 6月上旬	1	静岡市内	80	集合																										義務教育課 指導班
50	(静東管内)中学校英語科授業づくり研修	基本(経)	悉皆	6月～7月	5月	0.5	オンライン		ワデマド配 信型のみ																								参加条件あり、通年で自己研さん		義務教育課 指導班
51	(静西管内)中学校英語科授業づくり研修	基本(経)	悉皆	6月～7月	5月	0.5	オンライン		ワデマド配 信型のみ																								参加条件あり、通年で自己研さん		義務教育課 指導班
52	(静東管内)研修主任研修会	基本(経)	悉皆	5月	4月	0.5	三島・5月		集合																										義務教育課(指導班)・ 静東教育事務所(地域 支援課)

研修名	新規	種類	区分	開催日	開催通知 発行予定時期	研修日数	会場	定員	実施形 態	対象											資質能力						キャリアステージ						研修研修選択			備考	研修主管課	
										備 考 の 実 施 形 態 が そ の 増 加 の 場 合 の 考 慮 要 す	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務局	教育的 専門 職 員 の 参 照 人 員 に 関 する 研 修 活 動 等 の 実 施 要 す	授業力	生徒 指導 力	教育 業務 遂 行 力	組織 運営 力	教 育 課 外 の 課 外 の 実 施 要 す	管理 運営	人材 育 成 力	基礎・ 向上 期	充 実・ 発 展 期	深 化・ 熟 練 期	職 務 に 応 じ た 研 修	その他	特 定 職 務 に 関 する 研 修	小 中 高 各 年 次	特 定 職 務 に 関 する 研 修						
53		基本 (関)	悉皆	5月	4月	0.5	総合教育センター-5月		集合								○																				義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)	
54		基本 (関)	悉皆			0.5	5月初旬		リフレ配信 型のみ								○																			義務教育課(指導班)・ 静東教育事務所(地域 支援課)		
55		基本 (関)	悉皆			0.5	5月初旬 (集合なし) 総合教育センター		集合								○																		リに変更可能性	義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)		
56		基本 (関)	悉皆	9月上旬	7月	0.5	三島-9月		集合								○																		リに変更可能性	義務教育課(指導班)・ 静東教育事務所(地域 支援課)		
57		基本 (関)	悉皆	10月	9月	0.5	総合教育センター-10月		集合								○																			義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)		
58		基本 (関)	悉皆	9月(未定)	9月	0.5	9月		リフレ配信 型のみ								○																			義務教育課(指導班)・ 静東教育事務所(地域 支援課)		
59		基本 (関)	悉皆	9月	9月	0.5	9月		リフレ配信 型のみ								○																		リに変更可能性	義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)		
60		基本 (関)	悉皆	4月 6月 7月	3月 5月 6月	0.5	東部総合庁舎ほか・4月、6 月、7月		集合								○																		集1・リ2	義務教育課(指導班)・ 静東教育事務所(地域 支援課)		
61		基本 (関)	悉皆	4月 6月 7月	3月 5月 6月	0.5	総合教育センターほか・4 月、6月、7月		集合								○																			義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)		
62		基本 (関)	悉皆			0.5	東部総合庁舎-5月		集合								○																			義務教育課(指導班)・ 静東教育事務所(地域 支援課)		
63		基本 (関)	悉皆			0.5	総合教育センター-5月		集合								○																			義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)		
64		基本 (関)	悉皆	4月23日(火)		1	静岡市内		集合								○																			義務教育課(指導班)・ 静西教育事務所(地域 支援課)		
65		基本 (関)	悉皆	6月	4月	0.5	樂序		その他		集合型研修及びラーニ ングによる動画視聴						○																			義務教育課 人事班		
66		基本 (関)	悉皆	5月	4月	1	各教育事務所		集合								○																			義務教育課 人事班		
67		基本 (関)	悉皆	6月	4月下旬	1	総合教育センター	130	集合																											高校教育課 指導第1・2班		
68		基本 (関)	悉皆	6月	5月	1	総合教育センター	120	集合																											高校教育課 指導第1・2班		
69		基本 (関)	悉皆	6月	5月上旬	1	総合教育センター	105	集合																											高校教育課 指導第1・2班		
70		基本 (関)	悉皆	全体会:4月下旬-5月 地区別会:実態に合わせ て、各地区で実施する	4月初旬				その他		全体会はオンデマンド配 信型 地区別会は実態に合わ せて実施																									高校教育課 指導第1・2班 県高等学校長協会		
71		基本 (関)	悉皆	5月	4月中旬	1	総合教育センター		集合																											高校教育課 指導第1・2班		
72		基本 (関)	悉皆	5月	4月中旬	1	総合教育センター		集合																											高校教育課 指導第1・2班		
73		基本 (関)	悉皆	8月		5日以上	各施設		集合																											対象:高等学校の教員(福祉)の教 員免許状を有する者であって、現 に指定を受けた福祉系高等学校 等の教員であるもの。	高校教育課 指導第2班	
74		基本 (関)	悉皆	5月 日	4月上旬	1	総合教育センター	170	集合																											特別支援コーディネーター対象・ 高校教育課と共有	高校教育課 指導班	
75		基本 (関)	悉皆	4月11日、11月1日	3月上旬 9月下旬	1	総合教育センター	40	集合																											教務主任	特別支援教育課 指導班	
76		基本 (関)	悉皆	7月 日、11月 日	9月下旬 10月下旬	1	総合教育センター	40	集合																												生徒指導担当	特別支援教育課 指導班
77		基本 (関)	悉皆	6月 日	4月中旬	0.5	各所属	40	リフレ配信 型のみ																												進路指導担当	特別支援教育課 指導班
78		基本 (関)	悉皆	11月 日	6月上旬	0.5	総合教育センター	40	集合																												進路指導担当	特別支援教育課 指導班
79		基本 (関)	悉皆	6月 日	4月上旬	0.5	5風来館	60	集合																												医ケア担当者	特別支援教育課 指導班
80		基本 (関)	悉皆	2月 日	12月下旬	0.5	各所属	60	リフレ配信 型のみ																												医ケア担当者	特別支援教育課 指導班

研修名	新規	種類	区分	開催日	開催通知 発出予定時期	研修日数	会場	定員	実施形態	備考	研修主管課	対象										資質能力				キャリアステージ				必修研修選択									
												備の実考 他施他 の形他 態が、そ の増の 場合の	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務局	教育的実務 総合的人 力	授業力	生徒指導力	教育業務遂 行力	組織運営力	マネジメント	人材育成力	基礎・向上 期	充実・発 展期	深化・熟 練期	職務に応じ た研修	その他	特別支援 教育	幼小中 学	特別支 援	特別支 援					
81		基本 (開)	悉皆	8月日	6月下旬	0.5	総合教育センター	60	集合																											訪問教育担当者	特別支援教育課 指導班		
82		基本 (開)	悉皆	8月日	6月下旬	1	総合教育センター	50	集合																											寄宿舎指導員	特別支援教育課 指導班		
83		基本 (開)	悉皆	8月日	6月下旬	3	県立大学	10	集合																											自立活動教諭	特別支援教育課 指導班		
84		基本 (開)	悉皆	8月日	6月下旬	0.5	本庁会議室	30	集合																											新規任期付教員	特別支援教育課 指導班		
85		基本 (開)	悉皆	4月	4月上旬	1	兼序	56	集合																											特別支援教育課 人事班			
86		基本 (開)	悉皆	8月	7月上旬	1	静岡県理上共同研修セン ターあざれあ	95	集合																												特別支援教育課 人事班		
87		基本 (開)	悉皆	5月	3月下旬	2	総合教育センター 三島市民文化会館	約470	集合																											小中学校体育主任	健康体育課 学校体育班		
88		基本 (開)	悉皆	9月	8月	1	総合教育センター	170	集合																												健康体育課 健康食育班		
89		基本 (開)	悉皆	8月	7月	1	総合教育センター	230	集合																												健康体育課 健康食育班		
90		基本 (開)	悉皆	8月8日	6月末	0.5	グランシップ中ホール	850	集合																												健康体育課 健康食育班		
91		基本 (開)	悉皆	10月	9月	0.5	総合教育センター・三島市 民文化会館	250	集合																												対象が1年ごとに変わり、R6は保 護主事対象。	健康体育課 健康食育班	
92		基本 (開)	悉皆	8月23日	7月	1	総合教育センター	150	集合																												健康体育課 健康食育班		
93		基本 (開)	悉皆	7月26日	6月上旬	1	あざれあ(予定)	260	集合																													健康体育課 健康食育班	
94		基本 (開)	悉皆	7-9月	7月初旬	2時間程 度	各学校1 名以上		わが「マド」配 信型のみ																													健康体育課 危機管理・安全班	
95		基本 (開)	悉皆	7-9月	7月初旬	2時間程 度	各学校1 名以上		わが「マド」配 信型のみ																													健康体育課 危機管理・安全班	
96		基本 (開)	悉皆	7-9月	7月初旬	2時間程 度	各学校1 名以上		わが「マド」配 信型のみ																													健康体育課 危機管理・安全班	
97		基本 (開)	悉皆	6月	5月初旬	0.5	各学校1 名以上		集合																													健康体育課 危機管理・安全班	
98		基本 (開)	悉皆	7-9月	7月初旬	2時間程 度	各学校1 名以上		わが「マド」配 信型のみ																														健康体育課 危機管理・安全班
99		基本 (開)	悉皆	4月-3月	前年度3月	0.5			わが「マド」配 信型のみ																													当該年度に青少年教育施設を利 用した自然体験活動を行う学校 の学校安全担当教員及び自然体 験活動の指導を行う教員	社会教育課
100		基本 (開)	悉皆	4月	4月	0.5	未定	未定	ハイブリッド型																													静岡県教育事務所	
101		基本 (開)	悉皆	4月上旬	3月中旬	1	総合教育センター	80	リアルタイム配 信型のみ																													静岡教育事務所	
102		基本 (開)	悉皆	4月・9月	研修実施 3週間前	3	総合教育センター他	87	集合																													総合教育センター 研修課	
103		基本 (開)	悉皆	5月	研修実施 3週間前	2	総合教育センター他	94	集合																													総合教育センター 研修課	
104		基本 (開)	悉皆	4月・9月	研修実施 3週間前	3	総合教育センター	26	集合																													総合教育センター 研修課	
105		基本 (開)	悉皆	5月	研修実施 3週間前	3(2:教頭 からの昇 任者)	総合教育センター	30	集合																													総合教育センター 研修課	
106		基本 (開)	悉皆	5月	研修実施 3週間前	3	総合教育センター	40	集合																														総合教育センター 研修課
107		基本 (開)	悉皆	9月11日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	113	集合																														総合教育センター 研修課
108		基本 (開)	悉皆	4月18日	研修実施 3週間前	0.5		114	リアルタイム配 信型のみ																														総合教育センター 研修課



研修名	新規	種類	区分	開催日	開催通知 発出予定時期	研修日数	会場	定員	実施形態	対象										資質能力					キャリアステージ					研修修習選択			備考	研修主管課				
										幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務局	教育的資質 総合的人権力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	管理運営	人材育成力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	その他	特選・初任	小中・6年次	特選・6年次								
																															備の実 考他 施形 態が の増 減の 場合 の							
136	小学校外国語活動・外国語科授業づくり研修		専門	悉皆		0.5×7	未定・9月～11月		集合																												詳細は今後検討	義務教育課(指導班)・ 教育事務所(地域支援 課)・総合教育センター (小中学校支援課)
137	幼稚園等初任者研修		専門	悉皆	5.6.7.9.11.12.1月		開催日1ヶ月前	7	総合教育センター等	50	集合																										新規採用幼稚園等教諭及び保育 教諭	義務教育課 幼児教育推進室
138	中堅教諭等資質向上研修(幼稚園等)		専門	悉皆	8月	6月	8月	6月 中旬及び 9月下旬	2	総合教育センター	50	集合																									幼児教育課(初任者研修担当)・ 総合教育センター(幼児教育 推進室)	義務教育課 幼児教育推進室
139	外国語指導講師の指導力等向上研修		専門	悉皆	11月		6月中旬及び 9月下旬	2	総合教育センター		集合																										高校教育課 指導第1班	
140	マネジメント講座2 - 学校事務理解 -		専門	悉皆	5月～8月		研修実施 3週間前	1			制限無し	ワデマンド配 信型のみ																									総合教育センター 研修課	
141	農業・水産実習研修会		専門	悉皆	1月24日		研修実施 3週間前	1	焼津水産高等学校	2	集合																										総合教育センター 高等学校支援課	
142	工業実習研修会		専門	悉皆	12月3日		研修実施 3週間前	1	総合教育センター	24	集合																										総合教育センター 高等学校支援課	
143	産業教育専門研修		専門	悉皆	期6月17・18日 期8月		研修実施 3週間前	校内0.5 日・校外 2日	2	総合教育センター・他	18	集合																									総合教育センター 高等学校支援課	
144	静岡県高等学校教育課程研究会		専門	悉皆	7月～8月		研修実施 3週間前	1	総合教育センター	1040	その他																										総合教育センター 高等学校支援課	
145	養護教諭指導リーダー研修		専門	推薦	6～7月、10月、1月 7～2月		開催月1月前	県立3 市町立 2.5	未定	50	その他																										健康体育課 健康食育班	
146	マネジメント研修		専門	推薦	期6月10～12日 期7 月10・11日 期9月30日 (小・中教員)8月20日(高 等教員) 期12月4～6日		研修実施 3週間前	9(事務職 員8)		総合教育センター・他	90	その他	集合・オンライン(高・特 教員)																								総合教育センター 研修課	
147	「主体的・対話的で深い学び」を支える授業研究		専門	推薦	1回目9月27日 2回目12月2日		研修実施 3週間前	2	総合教育センター	100	集合																										総合教育センター特別 支援課・小中学校支援 課・高等学校支援課	
148	コンプライアンス動画		専門	希望	通年		4月初旬	0.5			ワデマンド配 信型のみ																										教育総務課 勤務条件・監察班	
149	人権啓発指導者養成講座		専門	希望	8月		6月				ワデマンド配 信型のみ																										同対象との共催「人権教育指 導者研修会」(人権啓発指導者 養成講座)名称検討中	教育政策課 人権・教員育成班
150	「学びに向かう力、人間性等」実践研修		専門	希望	11月		9月上旬	1	総合教育センター	48	集合																										教育政策課 人権・教員育成班	
151	【学校管理職対象】教員の成長を支援するメンタ リングスキル向上研修		専門	希望	7月		4月下旬	0.5	総合教育センター	40	集合																										教育政策課 人権・教員育成班	
152	いじめに対応する学校づくり推進研修		専門	希望	12月中旬		9月下旬	0.5	総合教育センター	40	集合																										教育政策課 人権・教員育成班	
153	多様性を認め合う学級づくり実践研修		専門	希望	10月		7月	0.5	総合教育センター	40	集合																										教育政策課 人権・教員育成班	
154	「総合的な学習の時間」における探究的な授業 づくり研修		専門	希望	9月		5月下旬	0.5	総合教育センター	40	集合																										教育政策課 人権・教員育成班	
155	教員向け消費者教育実践講座 (家庭科教員向け)		専門	希望	8月上旬		5月下旬	0.5			100	ワデマンド配 信型のみ																									後日、研修管理システムでオン デマンド配信予定	県民生活課消費者支援 班 教育政策課人権・教員 育成班
156	教員向け消費者教育実践講座 (全教員向け)		専門	希望	8月上旬		5月下旬	0.5			100	ワデマンド配 信型のみ																									後日、研修管理システムでオン デマンド配信予定	県民生活課消費者支援 班 教育政策課人権・教員 育成班
157	ICT活用サポート研修		専門	希望				0.5			その他																										市町の要望に応じた研 修	教育D X推進課
158	ICT活用指導力向上研修(基礎編) (三島北高 校)		専門	希望				1	三島北高校	15	集合																										教育D X推進課	
159	ICT活用指導力向上研修(実践編) (三島北高 校)		専門	希望				1	三島北高校	15	集合																										教育D X推進課 総合教育センター	
160	ICT活用指導力向上研修(基礎編) (総合教育 センター)		専門	希望				1	総合教育センター	15	集合																										教育D X推進課	
161	ICT活用指導力向上研修(実践編) (総合教育 センター)		専門	希望				1	総合教育センター	20	集合																											教育D X推進課 総合教育センター
162	新しい時代に向けたICT活用研修(三島北高校)		専門	希望				1	三島北高校	15	集合																											教育D X推進課

研修名	新規	種類	区分	開催日	開催通知 発出予定時期	研修日数	会場	定員	実施形 態	備の実 考他 施形 態がそ の増 の 場 合 の	対象						資質能力							キャリアステージ					必修研修選択			備考	研修主管課				
											幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務局	教育的実 験	授業力	生徒指 導力	教育業 務遂行 力	組 織 運 営 力	管理運 営	人材育 成力	基礎・ 向上期	充 実・ 発展期	深 化・ 熟練期	職務に 応じた 研修	その他	特 定 支 援 課	特 定 支 援 課	特 定 支 援 課						
											小学校以下						特別支援学校		教職実践				キャリアステージ			必修研修選択											
163	新しい時代に向けたICT活用研修(総合教育センター)		専門	希望		1	総合教育センター	20	集合																										教育DX推進課		
164	アプリケーションの使用方法		専門	希望					ウェブ/動画/配信型のみ																										教育DX推進課		
165	ICTを活用した授業動画の共有		専門	希望					ウェブ/動画/配信型のみ																										教育DX推進課		
166	情報セキュリティ入門		専門	希望					ウェブ/動画/配信型のみ																										教育DX推進課		
167	保育者のためのマネジメント研修		専門	希望	10月(予定)	開催日1ヶ月前	0.5	静岡市内	100	ハイブリッド型																									義務教育課 幼児教育推進室		
168	幼児教育の理解・発展推進事業都道府県協議会		専門	希望	8月下旬	開催日1ヶ月前	1	総合教育センター等	400	ハイブリッド型																									義務教育課 幼児教育推進室		
169	インクルーシブ保育研修		専門	希望	7月(予定)	開催日1ヶ月前	0.5	静岡市内	100	ハイブリッド型																									義務教育課 幼児教育推進室		
170	幼小接続期の教育・保育研修		専門	希望	9月(予定)	開催日1ヶ月前	1	静岡市内	100	ハイブリッド型																									義務教育課 幼児教育推進室		
171	乳幼児保育研修		専門	希望	9月(予定)	開催日1ヶ月前	0.5	静岡市内	100	ハイブリッド型																									義務教育課 幼児教育推進室		
172	幼児理解研修		専門	希望	10月(予定)	開催日1ヶ月前	1	静岡市内	100	ハイブリッド型																									義務教育課 幼児教育推進室		
173	地域と学校の連携・協働実践研修		専門	希望	10月4日	研修実施 3週間前	0.5	総合教育センター	30	ハイブリッド型																									総合教育センター 総務企画・ICT推進課		
174	日本の学校、なんでやねん - 学校の果たす役割について考える -		専門	希望	7月26日	研修実施 3週間前	0.5		48	ハイブリッド型/配信型のみ																									総合教育センター 総務企画・ICT推進課		
175	探究的な学習を支える学校図書館活用研修		専門	希望	9月6日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	30	集合																									総合教育センター 総務企画・ICT推進課		
176	SDGs教育推進研修		専門	希望	7月22日	研修実施 3週間前	0.5	総合教育センター	40	集合																										総合教育センター 総務企画・ICT推進課	
177	ヤングケアラー支援のための資質向上研修		専門	希望	2月	研修実施 3週間前	0.5	総合教育センター	40	ハイブリッド型/配信型のみ																									総合教育センター 総務企画・ICT推進課		
178	マネジメント講座3 - 学校の経営ビジョンづくりと共有化 -		専門	希望	11月27日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	60	集合																										総合教育センター 研修課	
179	マネジメント講座4 - 組織の活性化と管理者の役割 -		専門	希望	11月1日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	60	集合																										総合教育センター 研修課	
180	マネジメント講座5 - 職場における人材育成 -		専門	希望	1月17日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	70	集合																										総合教育センター 研修課	
181	マネジメント講座6 - これからの学校における働き方改革 -		専門	希望	8月26日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	60	集合																										総合教育センター 研修課	
182	マネジメント講座9 - 教職員のための勤務・サービス -		専門	希望	8月20日	研修実施 3週間前	1	制限無し	ハイブリッド型/配信型のみ																											総合教育センター 研修課	
183	マネジメント講座11 - 勤務条件制度・給与制度・旅費制度 -		専門	希望	8月21日	研修実施 3週間前	1	制限無し	ハイブリッド型/配信型のみ																											総合教育センター 研修課	
184	困難を抱える子どものニーズに応じた連携・協力 - 効果的なケース会議の進め方 -		専門	希望	7月17日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	50	集合																										総合教育センター 特別支援課	
185	知的障害のある子どもの国語の単元づくり-子どもたちの思考に沿った授業デザイン-		専門	希望	7月9日	研修実施 3週間前	0.5		150	ハイブリッド型/配信型のみ																										総合教育センター 特別支援課	
186	特別支援教育における1人1台端末を活用した学びの充実		専門	希望	6月23日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	100	集合																										総合教育センター 特別支援課	
187	重度知的障害のある子どもの理解と指導		専門	希望	8月20日	研修実施 3週間前	1	総合教育センター	70	集合																										総合教育センター 特別支援課	
188	各教科等を合わせた指導の授業づくり		専門	希望	9月6日	研修実施 3週間前	0.5		150	ハイブリッド型/配信型のみ																											総合教育センター 特別支援課
189	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法 - 自閉症・情緒障害特別支援学級担任スキルアップ研修-TEACCHプログラム編-		専門	希望	8月6日	研修実施 3週間前	1		100	ハイブリッド型/配信型のみ																										総合教育センター 特別支援課	









令和6年度教員研修指標対応表  
本庁主催研修

発揮・向上を目指す資質能力					キャリアステージ			
総合的 資質能力	授業 力	生徒指導 力	教育業務 遂行力	組織運営 力	採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
						[採用から教職経験10年程度]	[教職経験10年程度から40歳代半ば]	[40歳代半ばから退職まで]
					静岡県公立学校教職員等採用内定者研修			
					若手教職員メンタルヘルス研修 幼稚園等初任者研修 初任者研修(小中学校) 特別支援学校初任者研修 新規採用養護教員研修 新規任用養護教諭等研修会 新規採用等栄養教諭研修 任期付等学校栄養職員研修会 特別支援学校任期付教員研修 新規採用寄宿舎指導員研修 新規採用自立活動教諭研修 2年次研修(小中学校) 特別支援学校2年次研修 3年次研修(小中学校) 特別支援学校3年次研修 6年次研修(小中学校) 特別支援学校6年次研修 栄養教諭2年次研修 養護教員6年次研修 栄養教諭・学校栄養職員6年次研修 自立活動教諭2年次研修			
					任期付教員等研修(小中学校)			
					青年海外協力隊 大学院修学支援 在外教育施設派遣			
					中堅教諭等資質向上研修(幼) 中堅教諭等資質向上研修(小・中) 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修 中堅教諭等資質向上研修(養護教員) 中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭・学校栄養職員)			
					新しい時代に向けたICT活用研修 静岡県教職員海外研修			
					民間企業等長期派遣研修 長期研修(総合教育センター等) 教職員等海外派遣研修(英語教育コース:2か月) 教職員等海外派遣研修(英語教育コース:4週間) 大学・大学院派遣 内地留学・静岡県立高等学校教員実務研修 総合教育センター長期研修(高) 長期研修(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)			
					教職大学院派遣(義務) 教職大学院派遣(特支) 内地留学(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所への派遣)(特支)			
					養護教諭指導リーダー研修			
					教育課程研修会 公立高等学校生徒指導主事研修会 公立高等学校進路指導主事研修会 公立高等学校特別支援教育コーディネーター研修会 公立高等学校探究学習担当者研修会			
					多様性を認め合う学級づくり実践研修 いじめに対応する学校づくり推進研修 探究的な学習指導者養成研修 保育者のためのマネジメント研修 幼児理解研修 教員の民間企業研修			
					(県立学校)職場の安全衛生管理者研修 新任管理者メンタルヘルス研修 教育課題講習会(小中学校)			
					[学校管理職対象]働き方改革における管理職の役(市町)職場の安全衛生管理者研修			
					新時代のリーダーとなる高校教員育成研修 南極派遣プログラム			
					公立学校新任学年主任連絡会 公立学校新任学年主任連絡会(特別支援学校) 外国語指導講師の指導力等向上研修 小学校外国語活動・外国語科授業づくり研修 情報活用基礎研修			
					人権啓発指導者養成講座 人権教育担当者研修会 「学びに向かう力、人間性」等実践研修 「総合的な学習の時間」における探究的な授業づくり研修 教員向け消費者教育実践講座(家庭科教員向け) 教員向け消費者教育実践講座(全教員向け) ICT活用指導力向上研修(基礎編) ICT活用指導力向上研修(実践編) アプリケーションの使用法 ICT活用サポート研修 ICTを活用した授業動画の共有 情報セキュリティ入門研修 幼児教育の理解・発展推進事業都道府県協議会 インクルーシブ保育研修 幼小接続期の教育・保育研修 乳幼児保育研修 静岡県教育職員免許法認定講習			

希望研修  
推薦研修  
必修研修  
派遣研修

令和6年度教職員研修指標対応表

総合教育センター主催研修

キャリアステージ

発揮・向上を目指す 資質能力	キャリアステージ		
総合的 教育的 人間力	基礎・向上期 〔採用から教職経験10年程度〕	充実・発展期 〔教職経験10年程度から 40歳代半ば〕	深化・熟練期 〔40歳代半ばから 退職まで〕
	国語科授業づくり研修(小)～単元構想と学習評価～ 社会科授業づくり研修(小)～主体的・対話的で深い学びのある社会科～ 小学校算数科授業づくり研修～データの活用,統計的な内容の充実～ 中学校数学科授業づくり研修～データ活用領域の指導と評価～ 小学校理科教材づくり研修(観・実・地・粒・子領域) 中学校理科教材づくり研修(観・実・エ・生・命領域) 小学校外国語授業づくりスキルアップ研修 音楽科授業づくり研修～日本の伝統音楽の指導法～ 家庭科授業づくり研修(小・中)～食生活に係る項目を中心に～ 図画工作科・美術科授業づくり研修～表現と鑑賞を関連させた題材構想～ 技術・家庭科(技術分野)授業づくり研修 小中学校体育指導者講習会 学校体育実技(武道)認定講習 プログラミング教育実践研修 知的障害のある子どもの国語の単元づくり～子どもの思考に沿った授業デザイン～ 各教科等を合わせた指導の授業づくり 特別の教科 道徳授業づくり研修 授業の基礎技術研修 高等学校数学科授業づくり基礎研修 高等学校理科教材づくり研修 商業科教員のための授業づくり研修 高等学校共通教科情報「情報」基礎研修		
		個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用(実践編) 共通教科「理数」から始まる探究的な学び	
	国語の単元構想力アップ研修(中・高) 社会科授業づくり研修(中・高) 英語教員のためのCAN-DOテスト作成研修 工業科教員のための技術力・指導力向上研修 高等学校芸術教科専門研修 STEAM教育基礎研修		
	家庭科/福祉科教員のための授業づくり研修 探究指導者養成研修(課題設定編)～高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて～ 探究指導者養成研修(調査・分析編)～高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて～ 高等学校教育課程研究会		
	高等学校体育指導者講習会	産業教育専門研修	
	特別支援教育における1人1台端末を活用した学びの充実 情報モラル教育実践研修	重度知的障害のある子どもの理解と指導 子どもの「学びに向かう力」を支える非認知能力涵養研修	
	特別支援学校フォローアップ研修 高等学校キャリア教育研修-生徒のキャリア発達支援- 「高3担任」進学指導スキルアップ研修 人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修 学級経営力向上研修 教育相談スキルアップ研修1-信頼関係を築く教育相談の基本姿勢- 教育相談スキルアップ研修-教育相談の基本と面接スキル- 教育相談スキルアップ研修-明日から使える学校カウンセリングスキル- SELを生かした不登校の未然防止	教育相談スキルアップ研修-保護者との効果的な教育相談- 多様な背景を持つ児童生徒の支援-関係機関との連携の在り方-	
	SDG:教育推進研修 ヤングケアラー支援のための資質向上研修	不登校に対するチーム支援の在り方 地域と学校の連携・協働実践研修 マネジメント講座9-教職員のための勤務・サービス- マネジメント講座11-勤務条件制度・給与制度-	マネジメント講座2-学校事務理解- マネジメント講座3-学校の経営ビジョンづくりと共有化- マネジメント講座4-組織の活性化と管理者の役割- マネジメント講座5-職場における人材育成- マネジメント講座6-これからの学校における働き方改革-
		日本の学校 なんてやねん -学校の果たす役割について考える- 探究的な学習を支える学校図書館活用研修 困難さを抱える子どものニーズに応じた連携・協力 (推)「主体的・対話的で深い学び」を支える授業研究	(推)生徒指導総合研修 (推)キャリア開発研修(小・中) (推)キャリア開発研修(小・中)
	公立高等学校初任者研修 公立高等学校2年次研修 公立高等学校3年次研修 公立高等学校6年次研修 公立高等学校7年次研修 公立高等学校8年次研修		キャリア開発研修(高・特) キャリア開発研修(高・特)
	公立高等学校中堅教諭等資質向上研修 期 公立高等学校中堅教諭等資質向上研修 期 公立高等学校フォローアップ研修		

.. 職務に応じて該当教職員が受ける研修のうち、希望により参加できる研修

令和6年度研修 指標対応表  
職に応じた研修 (本庁・センター)

発揮・向上を目指す資質能力					
教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	
本 庁 主 催 研 修	コンプライアンス動画	研修主任研修会	通級指導教室担当者研修会(発達)	幼稚園・こども園及び小中学校防災担当者研修会	相談員研修会
	ライフプラン講習会	教員介護実習	通級指導教室担当者研修会(言語)	小中学校体育主任者研修会	初任者研修指導教員研修会
		訪問教育担当者連絡協議会	新任特別支援学級担任担当者研修	小中学校学校安全教育指導者研修会	教育課程研修会
		中学校英語科授業づくり研修	新任通級指導教室担当者研修	外国人児童生徒担当教員等研修会	教育課題講習会(小中学校)
		小中学校におけるGIGAスクールサポート研修	通級指導教室中核者研修	公立高等学校探究学習担当者研修会	新任主幹教諭研修(小中学校)
		道德教育研修会	キャリア教育研修会	高等学校防災担当者研修会	新任教務主任研修(小中学校)
		外国語指導講師の指導力等向上研修	公立高等学校生徒指導主事研修会	高等学校交通安全教育指導者研修会	公立高等学校教務主任研修会
			公立高等学校特別支援教育コーディネーター研修会	高等学校・特別支援学校保健主事研修会	公立学校新任学年主任連絡会
			特別支援学校生徒指導連絡協議会	高等学校・特別支援学校養護教員研修会	特別支援学校学校間ネットワーク連絡協議会
			特別支援学校高等部段階におけるICT機器を活用した進路指導研修	特別支援学校教務主任連絡協議会	特別支援体制整備研究協議会
			寄宿舎指導員連絡協議会	特別支援学校進路指導連絡協議会	特別支援学校副校長・教頭研究協議会
			栄養教諭等食育担当者研修会	特別支援学校新任学年主任連絡会	特別支援学校部主事研究協議会
			人権教育担当者研修会	医療的ケア担当者連絡会	「交流箱」を活用した交流及び共同学習推進研修会
			心のユニバーサルデザイン研修	特別支援学校防災担当者研修会	
			児童生徒のキャリア発達と教福連携研修	自立活動教諭研修	
セ ン タ ー 主 催 研 修		高等学校産業教育実技講習会(商業)	静岡県の生徒指導研究協議会	高等学校保健体育科主任研修会	新任教頭研修(小・中)
		静岡県高等学校教育課程研究会		実習助手(理科)研修	新任副校長研修(高・特)
					新任教頭研修(高・特)
					研修主任研修(高)
					研修主任研修(特)
					マネジメント講座3 - 学校の経営ビジョンづくりと共有化 -
					マネジメント講座4 - 組織の活性化と管理者の役割 -
					マネジメント講座5 - 職場における人材育成 -

本庁主催研修

【校長・副校長・教頭】発揮・向上を目指す資質能力

学校経営のビジョンを実現する力 (分析・企画・検証・改善)	管理運営力	人材育成力
	教職員人事評価制度説明会 新任管理者メンタルヘルス研修 (県立学校)職場の安全衛生管理者研修 (市町)職場の安全衛生管理者研修	静岡県学校教職員人事評価制度[管理職の業務と人事評価] [学校管理職対象]教員の成長を支援するメンタリングスキル向上研修

センター主催研修

【校長】発揮・向上を目指す資質能力

学校経営のビジョンを実現する力 (分析・企画・検証・改善)	管理運営力	人材育成力
	新任校長研修(小・中) 新任校長研修(高・特)	
	マネジメント講座1 - 危機管理と労務管理 -	

職に応じた研修については、最も発揮・向上を目指す資質能力によって分類している。

富国有徳の美しい“ふじのくに”



Shizuoka Prefecture